



～お葬儀屋さんのひとりごと～

経験者に聞いた「お葬式で後悔したこと」ランキング

「終活」という言葉もすっかり一般的になり、ネットやテレビ、雑誌などさまざまなメディアで、お葬式に関する情報が日々発信されています。しかし、実際にお葬式を経験した人は、実に6割以上の方が、「『もっとこうすればよかった』と後悔していることがある」ということが明らかになりました。今回は直近2年以内に葬儀を経験した30歳以上の男女に行ったアンケート調査に基づき、お葬式を経験者に聞いた「お葬式で後悔したこと」をランキングでまとめました。



お葬式で後悔していることトップ10

第1位	【情報収集】	57.7%が「情報収集が不十分だった」
第2位	【葬儀社】	51.5%が「複数の葬儀社を比較しなかった」
第3位	【お葬式の価格】	47.3%が「価格が不透明なままお葬式をしてしまった」
第4位	【お寺・お坊さん】	38.5%が「複数のお寺・お坊さんを比較しなかった」
第5位	【当日の進行】	34.3%が「段取りがスムーズでなかった」
第6位	【食事】	32.6%が「お食事の内容が期待はずれ」
第7位	【斎場】	30.5%が「料金が高かった」と後悔
第8位	【返礼品】	29.2%が「期待通りの内容でなかった」
第9位	【お葬式の種類】	28.9%が「意思に反して予算をオーバーした」
第10位	【火葬場】	21.4%が「アクセスが悪かった」

第1位【情報収集】の中でも、もっとも後悔していることは、「情報収集が不十分だった」ということでした。インターネットやメディア、書籍などで、ある程度の情報を集めたものの、その収集が不十分だったという内容です。

その要因として考えられるのは、(1)時間が不足していた、または(2)自分用にカスタマイズされた情報が得られなかったといったことが考えられます。

(1)の時間が不足していたという点については、「終活」という言葉が知られるようになった今も、実際に「終活」に取り組んでいるという方は、まだ少ないことが予想されます。また、例えば親世代など、せっかく「終活」を進めていても、その内容を子世代に共有できていないということもあるかもしれません。さらに、「終活」といってもお葬式のことまでは手が回っていないといったことも考えられます。これまで、お葬式を経験した喪主の方々へのインタビューでは、病院でご家族がお亡くなりになってはじめて葬儀社を探した。また、事前に葬儀相談していた場合でも、ご家族が体調を崩され、余命を宣告されて初めてお葬式について考え始めたという方も多く、情報収集もあわただしい中で行っている様子が伺えます。

次に、(2)の自分用にカスタマイズされた情報というのは、現在世の中で紹介されているお葬式の情報が、よくも悪くも「一般的な内容である」ということが考えられます。

お葬式は、地域や宗旨宗派によっても異なります。また、それぞれのご家族の状況によっても変わってしまうでしょう。かつては、ご家族のお葬式を経験したことがある親せきの方や、町内の世話役といった、それぞれの地域やご家族の事情に精通した先人が、それぞれに必要な情報を提供してくれるという時代もありました。

しかし、親せき同士の付き合いや、地域の縁の在り方が変化する中で、それぞれの家庭の事情を知る人も少なくなっています。その分、メディアなどで出されている情報を頼らざるを得ないという状況が垣間見えます。

このような場合、地元の葬儀社など、地域特有のお葬式の習わしなどにも精通している葬儀社に相談してみるのも、一つの方法です。